



## 本法寺の沿革



叡昌山本法寺は、室町時代に活躍した日蓮宗僧侶、久遠成院日親上人（一四〇七～八八）によって開創されました。その時期や場所は諸説ありますが、永享八年（一四三六）に東洞院綾小路で築かれた「弘通所」が始まりとされています。その後、永享十二年（一四四〇）に、日親上人の幕府諫曉が原因で最初の破却に遭い、康正年間（一四五五～五七）に四条高倉で再建しました。寛正元年（一四六〇）年、日親上人の他宗派批判が原因で二度目の破却に遭った本法寺は、三条万里小路に移転して復興を果たすと、この寺を一門の中心地に定め、多くの僧侶たちが棲み繁栄しました。しかし、天文五年（一五三六）の法難によって一時は都を追われ、大坂堺に避難する事となりました。後に一条戻橋付近で再興し、さらに天正十五年（一五八七）、豊臣秀吉の聚楽第建設に伴う都市整備の影響で現在地に移転しました。その時の貫首日通上人は、外護者であった本阿弥光二・光悦親子の支援を受けて堂塔伽藍を整備し、本法寺は京都の町に一大栄華を誇るまでに及びましたが、天明八年（一七八八）に襲った大火で経蔵と宝蔵を残すだけとなりました。その後、檀信徒達の堂塔再建に対する願いは着々と結実され、今の本法寺となりました。



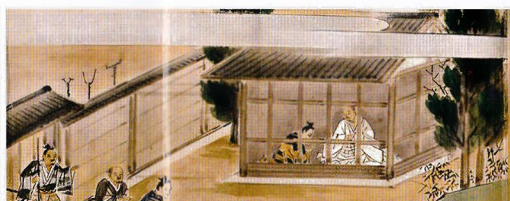
## 本阿弥光悦と「巴の庭」

（国指定名勝）

本阿弥光悦（一五五八～一六三七）は、安土桃山～江戸時代にかけて活躍した芸術家で、書・絵画・陶芸・漆芸などに優れた作品を遺しています。本阿弥家は元来、刀剣の鑑定や研磨を生業とし足利幕府に仕えていました。光悦の曾祖父である本阿弥清信が將軍義教の怒りに触れ、投獄された際に獄中で日親上人と出会い、熱心な法華信者になります。

爾来、本阿弥家は本法寺を菩提寺として支え、豊臣秀吉の命により現在地へ移転を強いられた際に、光悦は父親の光二と私財を投じ、伽藍の整備に力を尽くしました。光悦によって造られたとされる「巴の庭」は、室町期の書院風枯山水の影響を残す名庭で、国から名勝の指定をうけています。

「巴の庭」は書院の東側から南へ曲がる鍵形で、広さはおよそ二百坪におよびます。三箇所の築山で巴紋を表現することから「三巴の庭」と呼ばれますが、経年により、残念ながら巴の形は解りづらくなっています。また、東南隅に石組の枯瀧が配され、手前に置かれた縦縞紋様の青石によって、流れ落ちる水を表現しています。書院の縁側前には、半円を二つ組み合わせた円形石と、切石による十角形の蓮池が配置され、「日」「蓮」を表現しています。



「日親上人修行図（本阿弥同縁部分）」 片山尚景



## 長谷川等伯「佛涅槃図」

（国指定重要文化財）

本法寺の「佛涅槃図」（国指定重要文化財）は京都三大涅槃図のひとつに数えられ、その大きさは縦約十m横約六mにおよびます。作者は安土桃山時代から江戸初期を代表する絵師長谷川等伯（一五三九～一六一〇）で、自身の家族や心を寄せた日蓮宗僧侶らの供養を目的に、六十一歳のときにこの絵を描き本法寺に奉献しました。能登国七尾に生まれた等伯は、染物を生業とする長谷川家の養子となり、故郷で絵師として活動しました。その後、養父母の死をきっかけに京都へ移り住み、菩提寺の本山であった本法寺を拠点に活躍し、数多くのすばらしい作品を遺しました。



※通常は原寸大の複製を展示しています。  
毎年3月14日～4月15日の期間に真筆をご拝観いただけます。



## 十（つなし）の庭

庭に置かれている石の数が九つにもかかわらず「十の庭」とするのは、庭の石は九つでも見る人の心にもう一つの石（意志）が存在することから名付けられました。

なお「十」を「つなし」と読ませるのは、数字の一から九を数えるとき、ひとつふたつと「つ」がつきますが、十（とお）になると「つ」がつかないことから、「十」は「つが無い」ので「十（つなし）」とされています。巴の庭の修復事業に伴い作庭されました。





京都本法寺 平成31年春季特別寺宝展／2019 Spring special temple treasure exhibition, Honpō-ji Temple  
長谷川等伯 大涅槃図開帳／Hasegawa Tōhaku 「Buddha's nirvana」

期間／exhibition periods 3/26～4/21

公開予定寺宝 [◎国指定重要文化財]／Work on exhibition[◎National Important Cultural Property]

	Title	Author	Form and material	Year of making
1	◎佛涅槃図 ◎Buddha's nirvana	長谷川等伯 Hasegawa Tōhaku	紙本着色 Hanging scroll, ink and colors on paper	慶長4年(1599) Momoyama period,1599(Keichō 4)
2	赤楽茶碗 Red Raku Teabowl	樂了入 Raku Ryōnyū	施釉陶器 Glazed stoneware	天明8～文化8年(1788～1811) Edo period,1788-1811(Tenmei 8- Bunka 8)
3	茶杓 <i>Chashaku</i> (bamboo tea spoon for making Japanese tea)	本阿弥光甫作／圓能斎寄進 Hon'ami Kōhō／Donated by Ennōsai	竹製 Banboo	江戸時代(17世紀) Edo period,17th
4	鶯の和歌 <i>Waka</i> (Japanese poetry) "Bush warbler"	伝 本阿弥光悦 Attributed to Hon'ami Kōetsu	紙本墨書 Hanging scroll, ink on paper	桃山～江戸時代(16～17世紀) Momoyama-Edo period,16th-17th
5	桜花の和歌 <i>Waka</i> (Japanese poetry) "Cherry blossoms"	伝 本阿弥光悦 Attributed to Hon'ami Kōetsu	紙本墨書 Hanging scroll, ink on paper	桃山～江戸時代(16～17世紀) Momoyama-Edo period,16th-17th
6-1	◎法華題目抄【出展期間3/26～4/13】 <i>Hokke Daimoku shō</i> (On the Chanting of the Title of the Lotus Sutra) 【exhibition periods 3/26～4/13】	本阿弥光悦 Hon'ami Kōetsu	紙本墨書 Handscroll, ink on paper	江戸時代(17世紀) Edo period,17th
6-2	◎如説修行抄【出展期間4/14～4/21】 <i>Nyōsetsu Shugyō shō</i> (manuscript of Nichiren's letter, a letter to his followers) 【exhibition periods 4/14～4/21】	本阿弥光悦 Hon'ami Kōetsu	紙本墨書 Handscroll, ink on paper	江戸時代(17世紀) Edo period,17th
7	十六羅漢図 Sixteen Rakan(Skt.,Arhats)	狩野元信 Kanō Motonobu	紙本墨画 Hanging scroll, ink on paper	天文20年(1551) Muromachi period,1551 (Tenbun 20)
8-1	鶏頭花図【出展期間3/26～4/13】 Cockscomb 【exhibition periods 3/26～4/13】	伝 銭選 Attributed to Qian Xuan	紙本着色 Hanging scroll, ink and colors on paper	明時代(15～16世紀) China Min period,16th-17th
8-2	◎貝尽くし図【出展期間4/14～4/21】 ◎Assorted Shellfishes 【exhibition periods 4/14～4/21】	伝 趙昌 Attributed to Zhao Chang	紙本着色 Hanging scroll, ink and colors on paper	明時代(16世紀) China Min period,16th
9-1	◎日蓮聖人曼荼羅本尊 【出展期間3/26～4/13】 ◎Mandala of Nichiren 【exhibition periods 3/26～4/13】	日蓮 Nichiren	紙本墨書 Hanging scroll, ink on paper	弘安4年(1281) Kamakura period,1281(Kōan 4)
9-2	◎日親上人曼荼羅本尊 【出展期間4/14～4/21】 ◎Mandala of Nisshin 【exhibition periods 4/14～4/21】	日親 Nisshin	紙本墨書 Hanging scroll, ink on paper	寛正5年(1464) Muromachi period,1464(Kanshō 5)
10	青花芙蓉手蜥蜴文大皿 Large Foliate Plate with Lizard		染付磁器 Porcelain in underglaze blue	明～清時代(16～17世紀) China,Ming dynasty,16th-17th
11	青楽三具足 Blue Raku <i>Mitsu gusoku</i> (three elements of the altar)		施釉陶器 Glazed stoneware	江戸時代(16～17世紀) Edo period,16th-17th